

## 安倍首相の大洋州諸国歴訪への同行ミッション結果概要

平成 26 年 7 月 24 日

日本・東京商工会議所

去る 7 月 6 日から 12 日に実施された安倍首相のニュージーランド、オーストラリア、パプアニューギニアの 3 か国歴訪に合わせ、日本政府からの要請により日本商工会議所は三村明夫会頭を団長に、ニュージーランドとオーストラリアに同行ミッションを派遣した。

同行ミッションのメンバーは、日頃から日豪経済委員会や日本ニュージーランド経済委員会を通じて両国と密接な関係をもつ企業を中心に構成され、オーストラリアには団員 25 名、ニュージーランドには団員 10 名が同行した。随行者を含めると両国あわせて 100 名を超える大型のミッションとなった。

ニュージーランドでは、7 日（月）オークランドにおいてニュージーランド経済関係者との民間会合を行い、安倍首相夫妻ら政府関係者とともにキー首相主催昼食会に出席した。民間会合では、林業、酪農業、教育といった個別分野のビジネスの現状や可能性について議論するとともに T P P の早期締結の必要性について再確認した。

オーストラリアでは、8 日（火）首都キャンベラにおいて、連邦議会での歓迎式典や安倍首相の演説を傍聴し、豪州経済界による歓迎昼食会に出席した。その後、日豪 E P A 署名式と両国首脳による共同記者会見を見学した。そして夕方、両国首相とビジネス関係者とのレセプションおよびアボット首相主催晚餐会に出席した。翌 9 日（水）は、三村会頭はじめ一部の企業関係者が安倍首相による西オーストラリア州ウェスト・アンジェラス鉱山視察に同行し、アボット首相・バーネット西豪州首相歓迎夕食会に出席した。



オーストラリアの連邦議会にて  
(7 月 8 日)

安倍首相は翌 10 日（木）～11 日（金）、パプアニューギニアを訪問し帰国した。

- 1. 訪問先：** ニュージーランド オークランド  
オーストラリア キャンベラ、西オーストラリア州
- 2. 日 程：** 平成 26 年 7 月 6 日（日）～11 日（金）

### 3. 団の構成： (敬称略)

#### (1) ニュージーランド訪問同行者 (10名)

- ・三村明夫 (新日鐵住金(株) 相談役 名誉会長、日本商工会議所 会頭)
- ・篠田和久 (王子ホールディングス(株) 代表取締役会長、日本ニュージーランド経済委員会 委員長、(一社)日本経済団体連合会 副会長)
- ・市川晃 (住友林業(株) 代表取締役社長、日本ニュージーランド経済委員会 副委員長)
- ・草刈隆郎 (日本郵船(株) 相談役、日本ニュージーランド経済委員会 副委員長)
- ・中本祐昌 (株ウッドワン 代表取締役社長)
- ・林謙治 (リンナイ(株) 代表取締役副会長)
- ・山内卓 (三井物産(株) 副社長執行役員、アジア・大洋州本部長兼アジア・大洋州三井物産(株)社長)
- ・林正俊 (住友商事(株) 執行役員)
- ・高田光進 (ニュージーランド三菱商事会社 取締役社長)
- ・古澤徹 (株ジェイティービー 主幹・国際部長)

#### (2) オーストラリア訪問同行者 (25名)

- ・三村明夫 (新日鐵住金(株) 相談役 名誉会長、日本商工会議所 会頭、日豪経済委員会会長)
- ・小島順彦 (三菱商事(株) 取締役会長、日豪経済委員会 副会長)
- ・勝俣宣夫 (丸紅(株) 相談役、(一社)日本経済団体連合会 副会長)
- ・木村 康 (JXホールディングス(株) 代表取締役会長、(一社)日本経済団体連合会 副会長)
- ・市川晃 (住友林業(株) 代表取締役社長)
- ・飯島彰己 (三井物産(株) 代表取締役社長)
- ・伊東信一郎 (ANA ホールディングス(株) 代表取締役社長)
- ・岩崎芳太郎 (岩崎産業(株) 代表取締役社長)
- ・葛西敬之 (東海旅客鉄道(株) 代表取締役名誉会長)
- ・川口清史 (学校法人立命館 総長)
- ・小林栄三 (伊藤忠商事(株) 取締役会長)
- ・久保田隆 (千代田化工建設(株) 代表取締役会長)
- ・國部毅 (株三井住友銀行 頭取兼最高執行役員)
- ・黒田直樹 (国際石油開発帝石(株) 代表取締役会長)
- ・草刈隆郎 (日本郵船(株) 相談役)
- ・村山滋 (川崎重工業(株) 代表取締役社長)
- ・大西賢 (日本航空(株) 取締役会長)
- ・佐藤康博 (株みずほフィナンシャルグループ 取締役執行役社長 グループ CEO)
- ・重久吉弘 (日揮(株) 日揮グループ代表)
- ・隅修三 (東京海上日動火災保険(株) 取締役会長)
- ・渡辺博史 (株国際協力銀行 代表取締役総裁)
- ・矢野薫 (日本電気(株) 取締役会長)
- ・黒木啓介 ((独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 副理事長)
- ・段谷繁樹 (双日(株) 代表取締役副社長執行役員)
- ・岡部義裕 (日豪経済委員会 事務総長)

## 4. 各行事の概要

### 【ニュージーランド】

#### ①ニュージーランド経済関係者との民間会合 (Business Round Table Meeting)

＜7月7日（月）9:30-11:15 於：ワイナリー「ヴィラ・マリア」＞

ニュージーランドの経済団体等（Business New Zealand、日NZ経済委員会NZ側委員会、International Business Forum）が主催するラウンドテーブルに参加した。

NZ側はローリー・マルグレイン・Business New Zealand 会長、イアン・ケネディ日NZ経済委員長

日本側委員長をはじめとする経済関係者25名が出席した。

冒頭、NZ側はマルグレイン会長から、日本側は三村会頭から、開会あいさつと双方の出席者紹介が行われた。続く討議では、両国の経済状況と見通し、林業、酪農業、教育といった個別分野のビジネスの現状や可能性について議論するとともにTPPの早期締結の必要性について再確認した。



ビジネス・ラウンドテーブル（7月7日）

#### ②キー首相主催昼食会

＜7月7日（月）11:55-13:15 於：ワイナリー「ヴィラ・マリア」＞

キー首相主催による歓迎昼食会に安倍首相ご夫妻ら政府関係者とともに出席した。NZ側はキー首相夫妻、マレイ・マッカーリ外務大臣兼ラグビー・ワールドカップ担当大臣、経済団体関係者等が出席し、総勢約100名の昼食会となった。

冒頭の両首相のスピーチでは、安倍首相およびキー首相はともに、2011年の両国での大震災について言及した。キー首相は、クライストチャーチ地震の直後に支



歓迎昼食会で挨拶する安倍首相（7月7日）

援のために派遣された日本からの救助隊について安倍首相に対し感謝を述べた。また、キー首相は、東日本大震災の際に、ニュージーランドの捜索救助を担当する省庁の責任者が、自国の地震被害で非常に疲弊しているにもかかわらず、「NZのチームも日本への支援に派遣してほしい」と個人的にアプローチを受けたというエピソードを紹介した。

また、安倍首相は、経済が強固な日NZ関係を支える重要な柱であるとし、林業、漁業、鉄鋼業、観光業、製造業等を中心に、既に多くの日本企業がニュージーランドで活躍・貢献していることに触れ、両国経済人代表に対し、今後も経済交流を拡大していくよう求めた。さらに、日本で開催される2019年ラグビー・ワールドカップ、2020年オリンピック・パラリンピックについて、ニュージーランド政府を始め、両国経済人代表に対し、各大会の成功に向けた支援を呼びかけた。

## 【オーストラリア】

### ①安倍首相歓迎式典

＜7月8日（火）10:00-10:20 於：連邦議会＞

オーストラリア連邦議会において举行された安倍首相歓迎式典に参列した。アボット首相は、儀仗兵、19発の礼砲、軍楽隊による豪・日の国歌の演奏をもって安倍首相に歓迎の意を表した。

### ②安倍首相議会演説

＜7月8日（火）10:50-11:35 於：連邦議会＞

オーストラリア連邦議会で行われた安倍首相による演説を傍聴した。安倍首相は同議会で演説を行う日本初の総理大臣として連邦議会両院総会で20分近くにわたり英語で聴衆に語りかけた。

演説のなかで首相は、最初に第二次世界大戦で日豪両国が戦った歴史を振り返り犠牲者への哀悼の意を示し痛切な反省のもと戦後の誓いは今後も変わらないことを明言した。そして約50年前に岸首相（安倍首相の祖父）が締結した通商条約が両国の相互補完的な経済関係を築くに至ったこと、7年間の交渉が結実して日豪EPAが本日午後、調印されることにふれ、今後、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）や東アジア地域経済連携協定（RCEP）締結に向け、ともに歩んでいく決意を表明した。さらに日豪EPAが変革を遂げようとしている日本に良い変化をもたらす触媒となり、「防衛装備品及び技術の移転に関する協定」の調印とともに両国にとって新たな時代をもたらすだろうと述べた。日本とオーストラリアは、東経135度上の隣人として太平洋とインド洋をオープンで自由な場とするよう連携を強化していく所存が述べられた。

### ③豪州経済界による歓迎昼食会（豪日経済委員会主催）

＜7月8日（火）12:00-14:30 於：国立美術館＞

日豪経済委員会のカウンターパートである豪日経済委員会を中心とする全豪の経済団体や日豪友好団体が安倍首相を招いて歓迎昼食会を開催した。同行ミッションメンバーも招待を受けて出席し、総勢約350名近くの昼食会となった。

豪州側はエディントン豪日経済委員会会長のほか、ジャイルズ北部準州首席大臣、ビショップ外務大臣、ロブ貿易・投資大臣、マクファーレン産業大臣など政府関係者も出席した。冒頭、サー・ロッド・エディントン豪日経済委員会会長からの歓迎挨拶ののち、安倍首相がスピーチを行った。続いて、ワーウィック・スミス アジアソサイアティー会長からの謝辞ののち、三村会頭・日豪経済委員会会長より乾杯の挨拶が行われた。



歓迎昼食会で挨拶する三村会頭  
（7月8日）

安倍総理はスピーチのなかで、緊密な日豪関係の土台になっているのは良好な経済関係であり、50年以上にわたる活動を通じてその礎を築いてきた両国の日豪経済委員会の活動をねぎらうとともに、日豪EPAの必要性を早くから提唱し締結を後押ししたことは数々の功績のなかでも特筆すべきことと述べた。

三村会頭は乾杯挨拶のなかで、7年以上にわたり粘り強く交渉を続けた両国政府関係者に謝辞を述べるとともに、これからは両国企業が日豪EPAを最大限に活用しながら、ともに切磋琢磨あるいは協力しながら新たな時代を切り開いていきたいと述べた。



#### ④ E P A 署名式及び共同記者会見

＜7月8日（火）15:45-16:20 於：連邦議会＞

両国首相による日豪E P A等署名式と日豪共同記者会見を傍聴した。両国の経済界の長年の悲願だった日豪E P Aが、2007年から約7年に及ぶ交渉を経て、ようやく調印に至った。その後の記者会見では、2国間で最も重要な経済連携協定（E P A）に署名したとの報告と、環太平洋戦略的経済連携協定（T P P）を可能な限り早期に締結するとのコミットメントを確認したことが述べられた。また、日本の安全保障の枠組み再構築についてアボット首相は支持を表明。日豪防衛装備品・技術移転協定でより協力を深化していくことなどが示された。



両国首相共同記者会見  
(7月8日)



日豪経済連携協定(E P A)  
署名式(7月8日)

的経済連携協定（T P P）を可能な限り早期に締結するとのコミットメントを確認したことが述べられた。また、日本の安全保障の枠組み再構築についてアボット首相は支持を表明。日豪防衛装備品・技術移転協定でより協力を深化していくことなどが示された。

#### ⑤ 両国首相とビジネス関係者とのレセプション

＜7月8日（火）18:10-18:40 於：連邦議会＞



レセプションでの三村会頭と両国首相(7月8日)

日豪両首脳、ビショップ外相、ロブ貿易・投資相、日本側経済界代表、豪州ビジネス関係者他が参加し、カクテル形式の自由懇談が行われた。

## ⑥アボット首相主催晩餐会

＜7月8日（火）19:00-21:00 於：連邦議会内ホール＞

日本側、豪州側あわせて約500名が出席。安倍首相夫妻、アボット首相、ショーテン野党党首、連邦上下院議長、同議員、政府高官、州首相等が出席。日本側経済界代表も出席した。



アボット首相主催晩餐会（7月8日）

## ⑦西オーストラリア州・ウェスト・アンジェラス鉱山視察

＜7月9日（水）12:50-14:20 於：ウェスト・アンジェラス鉱山＞

安倍首相はアボット首相とともに、豪州西部ピルバラ地区にあるウェスト・アンジェラス鉱山の鉄鉱石採掘現場を視察した。三村会頭・日豪経済委員会会長ほか日本側経済界代表の一部メンバーのみが参加。ピルバラ地区は同国の主要鉄鉱石産地で、世界最大規模の露天掘り採掘現場が広がる。両首脳が視察するウェスト・アンジェラス鉱山は英豪系資源大手リオ・ティントと三井物産、新日鉄住金が共同出資している。

## ⑧アボット首相・バーネット西豪州首相主催歓迎夕食会

＜7月9日（水）19:00-21:00

於：クラウンパースホテル「アストラールボールルーム」（パース）＞

日本側、豪州側あわせて約200人が参加。安倍首相夫妻、アボット首相、バーネット西豪州首相、ビショップ外相をはじめ、三村会頭・日豪経済委員会会長が出席した。

以 上